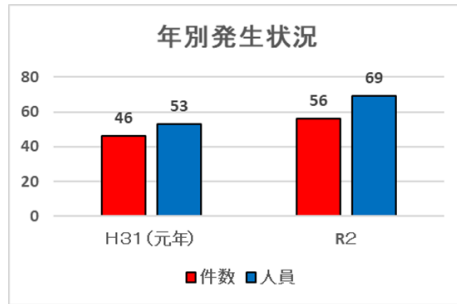


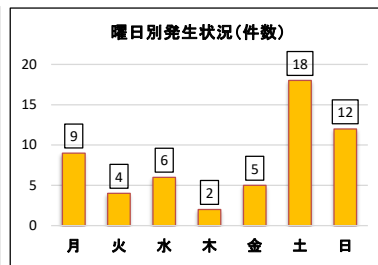
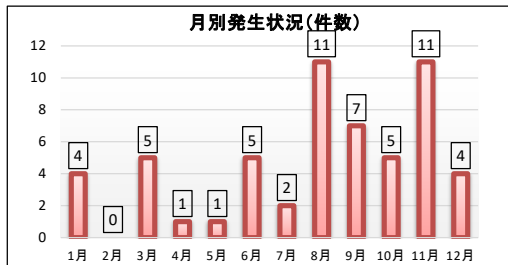
# 令和2年 山岳遭難発生状況

## 1 発生件数・人員

年	件数	人員
H31(元年)	46	53
R2	56	69
前年比	+10	+16

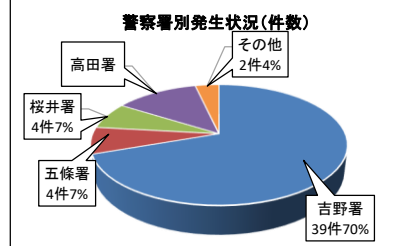
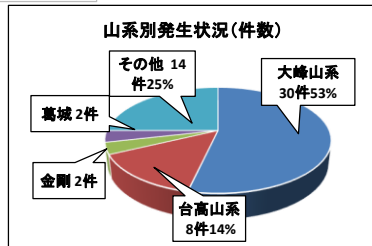


## 2 月別・曜日別



月別の発生状況では、夏休み期の8月、紅葉・行楽シーズンの発生が多い。

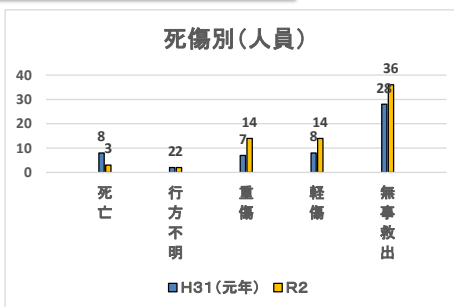
## 3 発生地別



発生山系別では、大峰山系、台高山系が全体の65%以上を占める。  
管轄警察署別では、吉野署が発生の70%を占める。

## 4 死傷別

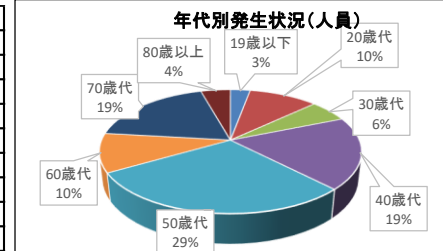
	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	合計
H31(元年)	8	2	7	8	28	53
R2	3	2	14	14	36	69
前年比	-5	±0	+7	+6	+8	+16



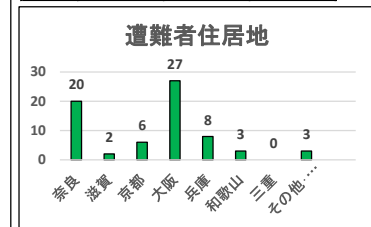
山岳遭難発生件数は増加しているが、死亡者数は、前年比で-5件と減少している。

## 5 遭難者の特徴

年齢	人員
19歳以下	2
20歳代	7
30歳代	4
40歳代	13
50歳代	20
60歳代	7
70歳代	13
80歳以上	3
合計	69



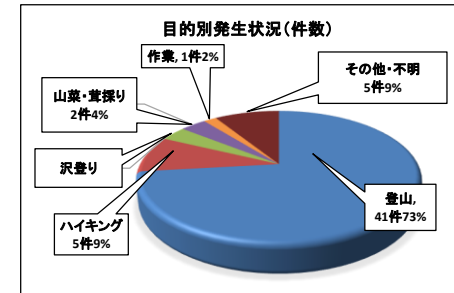
男女別(人員)			
	男性	女性	合計
人員	55	14	69
割合	79.7%	20.3%	



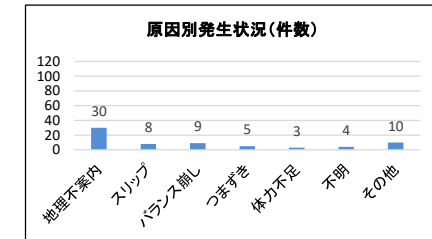
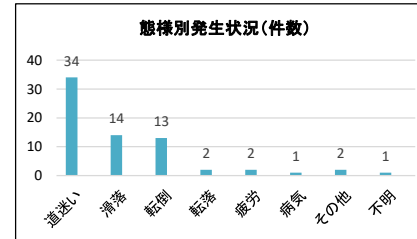
50歳以上の年代による遭難の割合が高く、全体の60%以上を占める。

## 6 入山目的別

目的	件数
登山	41
ハイキング	5
沢登り	2
山菜・茸採り	2
溪流釣り	0
作業	1
山岳信仰	0
その他・不明	5
合計	56



## 7 態様・原因別



## 8 その他

登山届提出状況 (山岳遭難件数中)	
提出	12
未提出	44
合計	56

登山届の提出は全遭難件数の約21%にとどまっている。  
※登山届の提出が不明の場合は、未提出としている

